

2014年（平成26年）大阪大学山岳会総会報告

日 時：2014年7月3日 18:00～19:00

場 所：阪大中之島センター9F 会議室

参加者：大野会長、高田副会長、山本（光）、木村、坪井、岡田（博）、廣瀬、打出、豊坂、山田、明神、森藤

議 事

1. 会長挨拶（大野会長）

2. 総会議事

以下の事項が報告、提案され了承された。

(1) 2013年度事業報告および会計報告

A) 事業および行事報告

月	事業・行事	予定日	内 容	参加者	備 考
4月	東京支部宴遊会	4/2	懇親会		神田神保町鳥魚料理「八羽」
	個人山行	4/27～4/29	白馬主稜、唐松岳縦走	大野、明神、科野、奥山、大倉、佐野、井上、上島(OGAC)、8名	悪天のため白馬主稜途中敗退
		4/28～4/30	唐松～五竜縦走	野田、前澤、横尾、米澤、出雲路、5名	八方尾根⇒唐松小屋⇒五竜小屋⇒遠見尾根
5月	理事会	5/21	総会準備、会計監査、山岳部支援他	理事、監事、評議員 8名	阪大中之島センター
6月	総会	6/27	2012年度事業報告・決算、2013年度事業計画・予算、その他懇親会	大野、木村、山本(光)、西川、五百蔵、岡田(博)、高田、山田、黒岩、明神、森藤、11名、懇親会に山岳部員5名	阪大中之島センター
	会報 OUMC 発刊		No.15	——	——
7-8月	個人山行	8/1～4	劔岳	山田、上島(OGAC)	劔沢—長次郎谷—本峰—別山尾根—劔沢
		8/16～	真川岩井谷	奥山、大倉、東條、蔭山、野口	
		8/16～31	日本アルプス縦走	井上 (単独)	滑川-劔岳-薬師岳-槍ヶ岳、木曾駒ヶ岳-檜尾岳、地藏尾根-仙丈ヶ岳-三峰岳-塩見岳-赤石岳-聖岳-畑薙-横沢
8-9月	白馬集会	8/31	懇親会	大島(輝)、山本(光)、木村夫妻、兼清、岡田(博)、野田、米澤、前澤、高田夫妻、出雲路、山田、稲垣、14名	対岳館
		9/1	懇親ゴルフ	兼清、前澤、丸山庄司氏	川中島 CC
9月	個人山行	9/17、9/27	氷ノ山、上蒜山	山田	
		9/23	日本アルプス縦走の完了、本州横断	井上	横沢-駿河湾
10月	理事会	10/21	上期会務報告	理事、監事、評議員 9名	阪大中之島センター
11月					
12月					
1月					
2月	新年会	2/6	懇親会	大野、五百蔵、出雲路、打出、大川、岡田(博)、梶本、兼清、木村、黒岩、黒田、甲田、鹿野、科野、高田、豊坂、原、廣瀬、三澤、明神、山田、山本(光)	阪大中之島センター 住吉さんの米寿を祝う会は延期とした
3月	東京支部宴遊会	3/8	講演会(講師:野口、畑、井上)、懇親会	大島(輝)、兼清、前澤、米澤、横尾、高田、糸井、辻、泉田、石原、藪本、井上、野口、今村、畑、出雲路	鎌倉市鎌倉生涯学習センター(講演会) 鎌倉山下飯店(懇親会)

(特記事項)

・2014.3 の東京支部宴遊会は単なる懇親会から、会員の山行活動を講師として報告してもらう新しい試みであり、良い企画であろう。この時の報告内容は、①「中国チョンライ山系双橋溝周辺の山、山行報告」(野口、畑)、「日本アルプス縦走記・日本海か

ら太平洋まで」(井上)であった。

・これまでの定例会合(総会、理事会、白馬集会等々)以外の個人山行がへ増えつつあり、山岳会としての最も基礎的部分が事業活動の中に見えて来た事は、山岳部員に対する刺激になると思われる。但し、万一の事態に対する体勢、特に救援体制は事実上困難であり、会としては個人責任で山岳保険への加入による対応をお願いする。

B) 2013 年度会計報告、会計監査報告

(省略：送付される報告書に記載)

(2) 2014 年度事業案および予算案

A) 事業・行事案

月	事業・行事	予定日	内 容	参加者	備 考
4 月	個人山行	4/27~4/29	爺ヶ岳南尾根-鹿島槍ヶ岳	奥山、明神、草尾	
		5/2~5/4	白馬主稜	大野、井上、明神	
5 月	理事会	5/20	総会準備、会計監査、役員人事他	理事、監事、評議員	阪大中之島センター
6 月					
7 月	総会	7/3	2013 年度事業報告・決算、2014 年度事業計画・予算、その他懇親会		阪大中之島センター
	会報 OUMC 発刊		No.16	——	——
7 月~8 月	個人山行	8/上	剣岳(三の窓雪渓-北方稜線一本峰)	山田、上島(OGAC)	
9 月	白馬集会	9/6	懇親会		対岳館
		9/8	懇親ゴルフ		(場所未定)
10 月	理事会	10/下	上期会務報告	理事、監事、評議員	阪大中之島センター
11 月					
12 月					
1 月	新年会	1/下	懇親会		阪大中之島センター予定
2 月					
3 月					

白馬集会では住吉、大島(輝)両氏の米寿祝いを計画中。案内は後日送付。

大阪集会については、来年の新年会を土曜日午後を設定することで、関西以外の会員や、高齢者の参加をやすくし、大阪集会の起案趣旨を生かす方向で検討する。

B) 予算案

2014 年度会費 これまで通り¥3,000-とする。

予算案(省略：送付される報告書に記載)

(3) 役員改選

本年3月末で役員の任期が終了し、理事会の推薦に基づき以下の役員が選出された。任期は3年間(2017年3月まで)。

役職	新役員案	卒年	異動	摘 要
会 長	大野 義照	1967	(留任)	
副 会 長	高田 邦雄	1965	(留任)	会報担当
常務理事	山田 靖則	1971	(留任)	事務局
理 事	石原 敏雄	1970	(留任)	(東京)
〃	明神 知	1978	(留任)	山岳部支援
〃	科野 昌蔵	1982	(留任)	会計
〃	井上 太一	1975	(留任)	(東京) 東京支部長
〃	奥山 宏臣	1984	(留任)	
〃	森藤 正人	1985	(留任)	山岳部長
監 事	岡田 博司	1958	(留任)	
評 議 員	山本 光二	1954	(留任)	
〃	木村 裕一	1956	(留任)	
〃	野田憲一郎	1960	(留任)	(東京) JAC 窓口

〃	廣瀬 貞雄	1961	(留任)	
〃	山本 彰三	1963	(留任)	
〃	梶本 孝治	1963	(留任)	
〃	横尾秀次郎	1964	(留任)	(東京)
〃	出雲路敬孝	1967	(新任)	(東京)、理事退任

なお、甲田理事は本人からの申し出により、西川評議員は逝去のため、ともに2013年10月の理事会で退任が承認されています。

(4) その他

A) 山岳部の状況について

・山岳部の現況は以下の通り。

学年	氏名	学部・学科	役職他
6 (M2)	小林 正志	大学院生命機能研究科	(M2?)
	島 孝典	医学部医学科	
	西村 俊輝	医学部医学科	
	山本 悠司	医学部医学科	
5 (M1)	山田 拓哉	工学部	(M1?)
4	住谷 勇	文学部	
3	磯 賢治	医学部保健学科	
	土橋 遼	医学部保健学科	
	八坂 健太	経済学部経営学科	主務 (M)
2	金井雄仁郎	法学部	主将 (CL)
	長澤 史	医学部保健学科	(女子)
	山崎 優太	基礎工学部システム科学科	副将 (SL)
	高波 巧美	外国語学部スワヒリ語科	
1	岩本 亮太	理学部数学科	
	中尾 香	薬学部薬科学科	(女子)
	大滝 悟嗣	工学部応用理工学科	
	塚田 信司	薬学部薬科学科	
	橋本 啄哉	基礎工学部化学応用学科	
	堀部 慎	工学部応用自然科学科	
	岩田 優吾	理学部生物科学科	
部員数 20 名 (体育会登録 18 名 : 院生を除く)			

活動はウォークライミングが主体であるが、山行志向の部員も増加しつつある。雪上技術の外、山に対する全般的な知識の習得に対する教育・指導が必要であるが、実践できる指導者の確保が要請される。

B) 笠松氏自費出版の紹介

笠松氏自費出版本

『異境の空 - 癒しの旅』原題「Below Another Sky」 Rick Ridgeway 著、笠松卓爾 訳

出版時期、出版部数、頒価については未定。本件への対応としては、会としては会員への紹介及びHPでの外部への紹介とし、資金支援は行わない。

C) 名簿の発刊について

会員名簿は2009年に発刊して以来、改訂していないので今年中に発刊予定。事務局にて処理。

3. 懇親会

総会后、懇親会が交流サロンで行われ、山岳部からは新入部員を含む9名が参加し、昨年の山岳会の山行等も紹介し、山行へのPRを行なった。山岳部の出席者は以下の通り。

八坂(M:3)、山崎(2)、岩本、中尾(女子)、大滝、塚田、橋本、堀部、岩田(以上新入部員)

夏合宿はまだ未定であるが、夏休みが8/1からとなっており、試験等の食い込みもあり日程調整がむづかしい様子。また、山岳会員との合同山行も同様である。

総会懇親会集合写真



出席した山岳部員



参加者集合写真（木村氏は退出されている）